

いのちの言の葉2009

富山県教育委員会平成21年度いのちのメッセージ発信事業

「いのちの授業～ほむら色の空～」

富山市立針原小学校3～6学年児童
平成21年9月29日実施

【いのちの先生】

前野 時子先生

・富山大空襲を語り継ぐ会

【授業の概要】

- 1 「いのちの先生」の紹介(教頭)
- 2 富山大空襲について(教頭)
 - ・富山大空襲の概略を聞く。
- 3 「いのちの先生」の話
 - ・絵本「ほむら色の空」をもとに、当時の状況・心境について聞く。
- 4 感想記入 教室へ戻り、感想を話し合い、「いのちのメッセージカード」を書く。

お母さんへ

私は、けんかしたときなどに、弟に「死ね」とか、いやなことばかり言っていました。けれども、前野さんのお話を聞いて、いのちは大切だから「死ね」という言葉を使わないようにしたいと思いました。お母さんがくれた大事ないのちなだから大切にします。

おじいちゃんへ

私は、前野先生の戦争のお話を聞いて、今の時代はすごくすてきで、幸せな暮らしをしていることに気づきました。だからいっぱい遊んだり勉強したりして、いのちを大切にしなければならぬと思いました。



前野先生へ

私がこの世界に生まれてきたことが奇跡なのだと思います。戦争を体験したことがないので、死者がこんなに出ることを初めて知り、戦争の怖さをとっても感じました。

前野先生は、本当にすごい方です。一つ一つの言葉が絵になって、戦争ってこんなことが起こるのだと分かりました。いのちってやっぱり大切なのだと心から思いました。

前野先生へ

先生は3歳でお母さんを亡くされてたいへんだったことでしょう。でも、いろいろな人に支えられてここまで生きてこられたのだと思いました。これからもいのちの大切さと戦争について多くの人に伝えていってください。

妹へ

戦争は、みんなのいのちをうばうとても怖いものです。今の日本では、戦争はありませんが、世界では、まだ戦争をしている国があります。生きてくても生きられない人がいるのに、日本では自分のいのちを自分で絶つ人がいます。いのちを大切にすることになってほしいです。